

# 飛躍する千葉県産業

森田 健作 千葉県知事

インタビュー

交通インフラ網の整備が進む千葉県。東京湾アクアラインの通行料引き下げ継続や首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備は、千葉県産業の発展に大きな可能性をもたらしている。2020年の東京五輪・パラリンピック競技の県内開催も経済成長の追い風となりそうだ。3月に3選を果たした森田健作千葉県知事は、千葉の持つ魅力と「ポテンシャル」を改めて強調。さらなる飛躍を目指す。

「これまでの2期8年、ただでさえ、人口が増加し、33年ぶりに小学校が閉校するなど良い影響が周囲に広がっている。効果をこれだけで終わらせず、既存のものを使っただけで済ませたいと考えてきた。『ちばアクアト』を生むものはないかと考えて、目をつけたのが東京湾アクアラインだ。そこで（09年8月当時）ETC普通車で25320円（の）通行料金の800円への引き下げを実現したのだが、この効果は想定以上だった。（料金引き下げ継続後の14年4月）16年9月の経済波及効果は、首都圏1都3県で約155億円、千葉県の再発見につなげていきただけで869億円との調査結果も出た。東京湾アクアラインの料金引き下げで大きな経済波及効果が生まれたことは、人とモノの流人を超える雇用が生まれ

## 交通インフラ充実 大きな経済効果

## 高まるポテンシャル

「私今回の五輪で、子どもたちに、県内でやる五輪・パラリンピックを見せたいと思ってる。我が県で8競技やったというのを千葉のプライドとして、子どもたちに誇りを持ってもらいたい。同時に経済波及効果への期待も大きい。特にサーフィンは初めての五輪競技として、世界から注目されている。千葉県の釣ヶ崎海岸とはどこかか興味を持って、日本に来たら行ってみたいと思ってる。住んでみたいと思ってる。果を考えると当然だが、通行料金を下げれば、観光振興も、人とモノの流れがスムーズになることが最も重要な。大動脈となる道路をしっかりと整備すれば、必ず盛り上がる。実際に、道路網の整備が成田国際空港の発展、東京五輪・パラリンピック競技の県内開催などに繋がってきている。20年の東京五輪・パラリンピックでは、計8万人の観光客が訪れる。観光振興や顔で迎えられる気持ちを大切にしたい。20年の東京五輪の成功に備えたい。民間に丁寧な説明し、一人でも多くの方に納得してもらえよう。成田国際空港を盛り上げたいという思いは多くの人が持っており、第3滑走路新設について反対の声は少ない。ただ、深夜にどのように取り組みますか。」「だからこそ、九十九里・外房地域に東京五輪のサーフィン競技を誘致した。地元も一生懸命頑張ってきた成果だ。地域の活性化は、普通のやり方ではだめだ。大きく光を当てなければならなかった。東京五輪は千載一遇のチャンス。サーフィンをきっかけに、まずは多くの人に来てもらいたい。知ってもらいたい。首都圏にありながら、自然や人情が共生する環境は大きな魅力の一つであり、これから光り輝いていく。同時に、交通インフラを充実させることも必要となる。圏央道の早期開通を目指すことも、県道なども着実に整備していきたい。」「県内の99.8%が中小企業です。どう活性化していきますか。」「日本経済をしっかりと地固めしているのは、中小企業だ。中小企業が元気でなければ、県日本の経済発展はない。資金調達、人材の確保、販路拡大など中小企業の抱える課題は多い。『第3次ちば中小企業元気戦略』に基づいて、資金調達の面も含め、企業がこうしたいと考える将来への投資に理解を示せるようにしたい。今日明日のことだけで考えているのは、本音の繁栄はない。10年後、20年後を見据え、企業の夢を実現させるようなサポートができるよう、行政としてしっかり取り組むという方針を強く打ち出していく」



「国、成田国際空港（NAA）がより一層の機能強化を強く望む中、千葉県としてもそうしないければ今のグローバル化についていけないと考える。同時に、成田闘争のような悲惨な状況は二度と起こしてはいけないと強く思っている。住



## 千葉県特集



# WITH YOUR CHALLENGE

応援したい。挑戦するすべての人を。

ゴールに向かう人がいる。  
限界に挑む人がいる。  
世界をめざす人がいる。  
それはアスリートとは限らない。  
誰だって、仕事で、人生で、  
何かにチャレンジしている。  
応援したい。挑戦するすべての人を。  
あ、はじめまして。  
私、ちばぎんの新しいイメージキャラクター  
鈴木愛理です。



ちばぎん 未来を育む 宣言